

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 27. 4. 24 第 189 回国会第 7 号

4 月 24 日（金）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 ①平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法案（内閣提出第15号）

②平成三十一年ラグビーワールドカップ大会特別措置法案（内閣提出第16号）

- ・下村国務大臣、丹羽文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・両案に対し、大平喜信君（共産）が討論を行いました。
- ・①について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、社民 反対一共産）
- ・①に対し池田佳隆君外 4 名（自民、民主、維新、公明、社民）から提出された附帯決議案について、郡和子君（民主）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、社民 反対一共産）
- ・②について採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、民主、維新、公明、共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

笠 浩 史君（民主）

- ・下村大臣及び関係者に政治資金規正法違反の疑いがあるとする告発状が、東京地方検察庁に受理されたことについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・パラリンピック競技団体の多くは、専用の事務所を持たず、また、任意団体として活動しているなど、組織体制が脆弱であることを踏まえ、2020年東京パラリンピック競技大会の成功に向けて、国がパラリンピック競技団体への支援を拡充すべきだと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化に向けたナショナルトレーニングセンターの施設拡充整備計画について、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会開催の1年8か月前に完成が予定されているとのことだが、大会に先立つ選手選考等のスケジュールを勘案すると、完成の前倒しを検討するべきだと考えるが、大臣の見解を伺いたい。

牧 義 夫君（維新）

- ・新国立霞ヶ丘競技場が税金の無駄遣いとなつてはならないとの観点から、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会以後の同競技場の稼働率等の利用見込みを伺いたい。また、同競技場周辺の環境整備等における東京都との連携状況を伺いたい。
- ・平成三十一年ラグビーワールドカップ大会特別措置法

案の趣旨説明において、ラグビーワールドカップ大会を「大規模かつ国家的に重要なスポーツの競技会」とした基準を文部科学省に伺いたい。

大 平 喜 信君（共産）

- ・東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会の準備、施策の推進に当たっては、アジェンダ2020のうち、特に、「あらゆる側面に持続可能性の観点を盛り込む」としている提言4及び「費用を削減し、大会運営の柔軟性を強化する」としている提言12を踏まえる必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会の準備に関連して3環状道路整備等が予定されているが、これは大会を名目として成長戦略を推進するもので、アジェンダ2020の精神に反すると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

吉 川 元君（社民）

- ・選手強化費の配分に当たっては、特定の種目に偏ることなく、様々な競技の裾野が広がるようバランスの取れたものとする必要があると考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会の経済効果を東京都以外に波及させる必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。